

CSUS 交換留学報告書

氏名	村上颯野
学部/研究科・学年（留学時）	法文学部人文社会学科・4 回生
留学国名	アメリカ
留学期間	4 ヶ月
実施年月	2024 年 8 月 15 日～2024 年 12 月 15 日

1. はじめに

私はアメリカ合衆国カリフォルニア州にあるカリフォルニア州立大学サクラメント校（CSUS）で約 4 カ月の交換留学を経験しました。この留学の目的は、実用的な英語能力を向上させるとともに、異文化の中で生活することで自分の価値観を広げ、国際的な視野を養うことにありました。留学期間中、学内外でさまざまな経験を積み、多くを学びと貴重な思い出を作ることができました。1 学期間の留学でしたが、非常に充実した時間を過ごすことができました。本報告書では、学業と現地での生活を中心に、私の留学経験を具体的に振り返り、得られた成果について述べていきます。



CSUS キャンパス内

2. 留学をしようと思った理由

私が留学をしようと思った理由は、長期的で継続的な学習機会を得られると考えたからです。これまで、海外での語学研修や学校の英語の授業など、短期的な異文化交流や学習経験を積み重ねてきました。その中で、より長期的かつ継続的に学ぶことができる環境で英語

力をさらに向上させ、人間的にも成長したいという思いが強まりました。

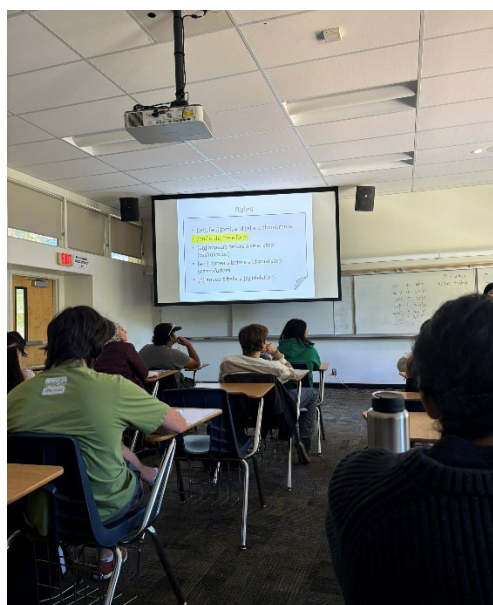
3. その大学を選んだ理由

私が CSUS を選んだ理由は、他の大学にはないこの大学独自の特徴にあります。CSUS はカリフォルニア州の州都に位置し、世界クラスの教育を提供する大学で、米国西部で 4 番目に多様性に富んだ大学として評価されています (U.S.ニュース・アンド・ワールド・レポート 2023)。現在、約 31,000 人の学生が在籍しており、カリフォルニア州立大学 (CSU) システムの 23 キャンパスの中で 6 番目の規模を誇ります。このような特徴を持つ CSUS であれば、私の留学の目的である「自分の価値観を広げ、国際的な視野を養う」という目標を、実用的な英語能力の向上とともに達成できると考え、選びました。

4. 留学先で学んだこと (授業の様子)

大学では English を専攻として選択し、主に言語学的視点や教育学的視点から英語を学びました。また、専攻分野の授業に加え、世界政治の授業も履修しました。すべての授業でペアワークやグループディスカッションの機会が豊富にあり、自分の意見を表現し、活発な意見交換を行うことが求められました。こうした活動を通じて、自己表現力や異なる意見を理解する力を身に付けることができました。さらに、これらの活動は英語力向上に大いに役立ただけでなく、多くの友人を作る良いきっかけにもなりました。

日本での授業と比較すると、授業中に学生が積極的に自分の意見を述べたり、質問をしたる姿がとても印象的でした。このような他の学生の積極的な姿勢に刺激を受け、自分自身も主体性を持って行動する力を養うことができました。



授業の様子

5. 現地での生活（住まいや食事）

まず住まいについてですが、私は学内の寮で生活していました。部屋には私を含め合計4人が住むことになっており、その中の1人とはルームシェアをして共同生活を送っていました。私が住んでいた寮「American River Courtyard」は、学内の寮の中でも比較的新しくできた寮で、外観も内装もきれいで、とても住みやすい環境でした。

食事については、基本的に寮のそばにある食堂でとっていました。この食堂では様々な国の料理が提供されており、毎日異なるメニューを楽しむことができました。また、私は使用回数無制限のミールプランを利用していたため、食事に困ることなく快適に生活できました。



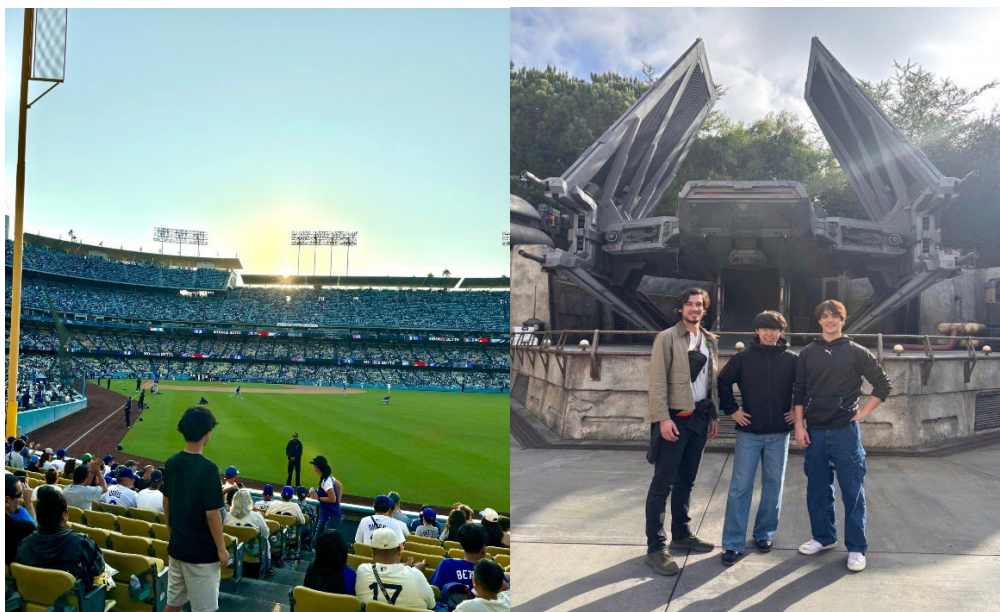
寮と食堂の食事

6. 留学先で楽しかったこと、辛かったこと

留学で楽しかったことは、学校生活でできた友人と毎日食堂と一緒に食事をしたり、外食に出かけたりしたことです。また、サクラメントからロサンゼルスまで車で約6時間かけて旅行に行ったことも良い思い出となりました。それに加えて、留学期間中に大リーグがシーズン中だったこともあり、ロサンゼルス・ドジャースの試合を1人で観に行ったことも印象に残っています。特に大谷翔平選手が歴史的な大記録を残すシーズンだったため、そのシーズンの一部を生で観ることができたのは一生の思い出です。

一方で、辛かったこともありました。授業ごとに出される課題や試験勉強に追われ、休む時間が十分になかったこともあったため、精神的にしんどくなることもありました。また、英語でコミュニケーションをとる際に言いたいことが表現できないことがあり、困ることもありました。しかし、このような状況も、友達と過ごしたり、ネイティブスピーカーに直

接聞いたり、彼らの話し方を真似したりすることで克服しました。



ドジャースタジアムとカリフォルニアディズニーランド

7. 終わりに

今回の交換留学は1学期間ということで、2学期間の留学に比べると短いものでしたが、その中で様々な経験をし、学び、多くの思い出を作ることができました。もし現在、留学を迷っている学生がいるのであれば、強い意志を持ち、自分なりの目標を設定して、交換留学を通じて自分の可能性を広げる挑戦をしてほしいと思います。

また、この交換留学をサポートしてくださった愛媛大学およびCSUSの教員の方々、そして私を応援してくれた家族や友人に心より感謝申し上げます。これらのどれか一つでも欠けていれば、私のこの素晴らしい留学経験は実現できなかったと思います。今回の貴重な経験は、今後の私自身の成長に活かしていきます。